

## 「おかげさまで 6 周年」 m( \_ \_ )m

拝復 おかげさまで弊社は本日、設立丸 6 年を迎えました。そんなに年数がたったのかという感慨はないのですが、ちゃんと自分も歳を取っています(笑)。どうなる見通しもないままに勢いで設立をしましたが、皆様のおかげをもちまして、7 年目にはいることができました。改めて御礼を申し上げます。ありがとうございます。



←まさに満開 お酒もうまい^^;

気候はまさに春爛漫。お花見もまだまだこれからですね。私はお正月よりも、桜の開花で一年の経過を実感します。すでに 50 回以上桜の季節を迎えたことになります。あと何回この季節を迎えることができるのか。平均で言えば 30 回くらいでしょうか。そう考え、桜の季節を大切に過ごしたいと思います。桜は散っても、新緑のシーズンがすぐにやってきます。日本という季節の移ろいの美しさを実感できる国に生まれた幸せをかみ締めたいとも思います。

さて、7 年目第一回のお題ですが、「**情報商材**」を取り上げます。この言葉、よく分かる人は全部分かるし、知らない方はまったく分からない(当たり前か)(笑)、お話です。ここ数年でものすごい勢いで延びています。インターネットを通じて「**情報**」そのものを売ります。真っ当なものも多いのですが、怪しいものが大半、いくつかは明らかに詐欺・もしくは限りなくそれに近いものも。

まず、「**情報商材**」を定義しましょう。こういうときの Wikipedia は本当に便利だ^^;。情報商材は、それ自体に金銭的な価値を設定し、売られるものであるが、特に「ある目的を達成するための方法」を指すことが多い。株式売買や先物取引などから成功報酬型広告など様々な分野で儲ける方法や、俗なところでは「異性にもてる方法」や脱オタク・裏技の類なども見出せる場所である。ただ、誇大広告などで商品自体に対価に見合うだけの価値が無かったり、実益が無い場合の返金保証を謳いながら実際の返金に応じないケースなど、国民生活センターなどに相談も寄せられている。

お分かりになりましたでしょうか？メールマガジンなどを通じて様々な分野からお誘いがありませんか？怪しい方から言うと「FX 必勝法」「競馬必勝プログラム」「ロト 6 で毎日が天国」「完全自動で毎日数万円が手に入る」「アフィリエイトで毎日天国」(笑)。「ダイエット」「身長が伸びる」^^;、外国語の学習法、「ゴルフ 100 切り、できなければ完全返金」など私が思わず飛びついてみたくなるようなものまで多種多様です。

考えてみれば、**競馬やパチンコに必勝法などがあるはずがない**のですが、それでもつられてしまう。こうした商材に共通するいくつかの特徴があります。

#### (1) 値段が結構高い

安いものでも数千円します。「花粉症対策完全版」これなんかは 2000 円くらいで買う事ができます。かと思えば「30 万円」などという超高額の商品もあるのです。私がこれまでに受け取ったオファー（笑）では、最高額です。「FX 必勝法」でした。さすがに買いません。いや、買えません。

#### (2) メールから販売画面を見に行くとほぼ同じテンプレートで紹介されている

商品の概略紹介 → それによっていかに儲かるか → 読者の感想（笑） → 限定の値引き  
最後には必ず、「本来は 10 万円でお売りしているところ、本日、20 名限りは 2 万円で OK」。

「明日にはこのページを閉鎖します」これは、**情報商材用の情報商材**が売られているようなのです。

本当に笑ってしまうくらいにそっくり、この商材を売った人は儲けましたね^^→



^^;。そうでもなければ、あれほどみんなそっくりにはならないでしょう。

#### (3) 無料ノウハウの提供がある

さすがにそのサイトだけで購入する人は少ないのか、多くの場合「無料版」が PDF ファイルなどで提供されます。返信しますから自分のメアドを提供しなければなりません、タダです。しかし、そこで送られてくるノウハウは「肝心の内容はゼロ」に近い。

#### (4) 返金保障がつく

これも、最近の特徴ですが、「効果がなければ全額返金」がついてくるようです。後述しますが、この返金保障は実際のケースではほとんど返金されません。返金のための条件が非常に厳しいのです。

ここまでは情報商材の一般的な特徴についてみたのですが、ここからは自らが実験台となって「情報商材」の世界に、飛び込んでみます。具体的な商品名等は明かしません、私が唯一やってみたくなった商品です。名づけて「プロフィ●ト・◎ング」。海外のブックメーカーを通じて賭けをすることで「必ず儲かる」という仕組みです。理屈としてとってもよくできています。

インターネットを使って海外ブックメーカーに賭けて儲かる、という仕組みです。まず、他のギャンブルに比べて還元率が非常に高いことが謳われます。宝くじ（還元率 45%）、競馬（75%）、パチンコ（80%）それに比べて海外ブックメーカーは 95%。これは事実です。日本の場合はギャンブルは国の貴重な税収です。それに比べれば海外のブックメーカーは、ラスヴェガスと同じ 5%（ビジネスです）。

どんな風に儲けるか。みそはブックメーカーによって掛け率が違う点です。

図をご覧ください。儲かっちゃうのです（笑）。

**Aブックメーカー社**  
(オーストラリア)

メジャーリーグ ベースボール  
ヤンkees × マリナーズ戦

試合	ヤンkees	マリナーズ
オッズ	3.9	1.2
掛金	100万円	



ヤンkeesが勝利した際の収益  
勝利した金額 両方への掛け金  
390万円 - (100万円+100万円)  
**=190万円**

**Bブックメーカー社**  
(ニュージーランド)

メジャーリーグ ベースボール  
ヤンkees × マリナーズ戦

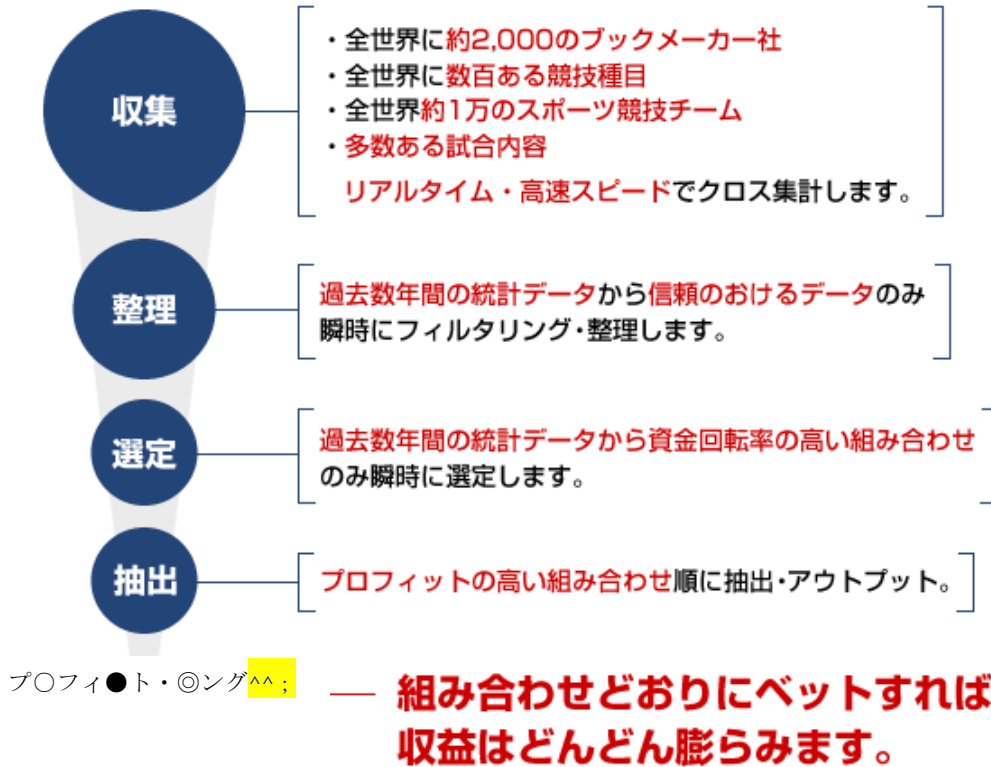
試合	ヤンkees	マリナーズ
オッズ	1.3	4.2
掛金		100万円



マリナーズが勝利した際の収益  
勝利した金額 両方への掛け金  
420万円 - (100万円+100万円)  
**=220万円**

つまりどっちにしても、勝つのです。これはもしこの掛け率がこの通りであれば、正しいのです。しかもメジャーリーグには引き分けがありません（これ、あとで効いてきます）。

すぐにお気づきでしょうが、「こんなベド（掛け率）はない」のです。しかし、あらゆるスポーツの中とブックメーカーから、もっとも高い組み合わせを情報として毎日メールで連絡をくれるというのです。そしてその試合に自分の賭けたい金額を賭ければいい。



これは面白い。よしんば儲けられないにしても、話としてとてもよくできていると感じました。

で、やってみました、**投資金額は 16800 円** (情報商材の中では安め)。すぐさま PDF ファイルをダウンロードします。ここからが実は大変なのです。まず**掛け金を振り込む口座を作る必要**があります。銀行口座ではありませんが、犯罪の温床となりかねないので非常に慎重です。私の場合パスポートと運転免許証を PDF ファイルで送ってようやく口座を開くことができました (すべて英語です)。次に実際に賭けをする**ブックメーカーを選択し 2 社に登録**をしました。まず、普通の人はここでギブアップですね。英語が読み書きできないとだめ、自分で PDF ファイルを作れる人でないとできません。

実際にやってみると、いくつかのことにすぐ気がつきます。確かに損はしないのですが、大して儲からないのです。なぜか。上述のようなベッドがまずほとんどないことです。せいぜい

			
<b>A 社</b>	<b>ヤンキース</b>	<b>: 1.8 倍</b>	<b>シアトル : 2.2 倍</b>
<b>B 社</b>	<b>ヤンキース</b>	<b>: 1.6 倍</b>	<b>シアトル : 2.3 倍</b>

くらいなのです。これでそれぞれの会社に 100 万円を投じたとします。ヤンキースが勝てば -20 万円、シアトルが勝てば+30 万円。合計で**+10 万円の利益** (実際にはここから所得税+消費税が引かれます)。これでもいいじゃないか、ほとんど働かずにお金が手に入る。

しかし、やはり、そんなに簡単な問題ではありません。

- ① 野球はいいのですが、**サッカーには引き分けがあります。**
- ② 簡単にどっちが勝つというベッドが少ないのです。「何点以上でどちらが勝つ」なんていう、賭けではこのシステムは役に立ちません。
- ③ 実際には 200 万円を最初から賭けることはしませんので、2 万円だと 1000 円の儲け(T\_T)。
- ④ 一番のポイントは**この例のように片方に大金を賭けると賭け率そのものが変わってしまいます。**  
(競馬で単勝 1.0 倍ってやつです。賭け口数が多ければこういうことになります)

これと同じことが金融の世界では起こっています。裁定取引といいますが、世界中の為替相場でのほんのちよつとの「差」を狙って売買を繰り返します。これも、超大型のシステムが必要です。あほらし。

そもそもそんなに儲かるのなら、なぜ自分でやらないのでしょうか。裁定取引 (アービトラージ) は参加プレイヤーが少ないほうが儲かるのです。自分からプレイヤーを増やすことはまったくの自己矛盾です。もう一点は、ブックメーカー側がこんなことはとくに気がついているということです。また極端なベッド表を作ってしまった場合には試合直前でキャンセルをします。

そんなある日、一通のメールが、「**プロフィット・エンゲル・ハイパー**」という**商品を開発しました** (引き分け対応) ここへ来てようやく理解できたのです。彼らは最初からこれを売りたいかったのです。きちんと動くソフトを作っています。コストはかなりかかっているはずですが、「FREE」の原則ですが、いったん作り上げてしまえば、**原価はほぼゼロ**です。あとは、売れば売れるだけ利益が上がる構造になっています。次ページの図をご覧ください。

Aブックメーカー社 (イングランド)				Bブックメーカー社 (マカオ)				Cブックメーカー社 (オーストラリア)			
 サッカー プレミアリーグ マンチェスター ユナイテッド × チェルシー戦				 サッカー プレミアリーグ マンチェスター ユナイテッド × チェルシー戦				 サッカー プレミアリーグ マンチェスター ユナイテッド × チェルシー戦			
試合	Man Utd.	Chelsea	Draw	試合	Man Utd.	Chelsea	Draw	試合	Man Utd.	Chelsea	Draw
オッズ	18.75	8.2	5.86	オッズ	3.41	17.7	6.63	オッズ	4.38	3.19	18.52
掛金	100万円			掛金		100万円		掛金			100万円
↓				↓				↓			
マンチェスターユナイテッドが 勝利した際の収益				チェルシーが勝利した際の収益				ドローの場合の収益			
勝利した金額 1,875万円 3建ての掛け金 -(100万円+100万円+100万円) = <b>1,575万円</b>				勝利した金額 1,770万円 3建ての掛け金 -(100万円+100万円+100万円) = <b>1,470万円</b>				勝利した金額 1,852万円 3建ての掛け金 -(100万円+100万円+100万円) = <b>1,552万円</b>			

さて、この商品おいくらでしょう。**20万円だそうです^^**；。もちろんこんな極端なベッドはありません。マイナスにはなりません、手間隙かけた割には大きな儲けにはなりません。私？当然ここで止めました。後日、「**先日のハイパーはあっという間に売れてしまいましたので、もう20人だけ枠を増やしました**」(笑)。そのサイト、今日でも同じ値段で購入することができません。

「限定、何人」「明日からは通常価格に戻します」「今夜零時にはサイトを閉じます」も常套手段。

この商材はよくできているほうだと思います。メンテの保障はありませんが、自前でソフトを開発しています。この会社はこれ以外にも「ロト6」や「競馬」でも同じようなことをしているようです。ノウハウが共通しているのでしょうか。(今日FXの必勝自動ソフトのメールが来ました)^^；

さて、今回は「情報商材」について具体的に、勧誘方法、煽り、等を実際の実例^^；をあげて、ご紹介しました。情報商材は書店での立ち読みのようなことができない。雑誌の袋とじ企画に似ています。

CPにも優れ価値の商品も多いのですが、実感としては9割が怪しい。皆さんも気をつけてください。

次回は4月中旬、新緑の季節を迎えます。花粉症もそろそろ終わりです。100年に一度はサービス業を直撃しております。何かありましたら事の大小を問わずお声がけをお願いします。

ではでは～(^ ^) /～～～ →今朝のご案内では「5万円」に下がってしまいました(笑)。

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I馬橋 3F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail: [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

<http://r-research.co.jp/> ブログ、毎日更新しています→<http://rresearch.blog103.fc2.com/>